

2022年 10月 31日

営業技術部 浜田

## 2022「第63回 品質月間」

お疲れ様です。 営業技術部の浜田です。  
新型コロナウイルスによる世界的蔓延が今なお影響を残し、  
そしてウクライナへの軍事侵攻など私たちが当たり前と  
思っていた社会(生活)が世界規模で変貌してしまいました。  
いつ起こるか分からない中国のロックダウンや  
今なお続く半導体不足による計画性のない生産情報、  
その後の減産情報など大幅な変更に対応しながらの  
生産活動が続く  
今なお先が見通せない中で今年も「品質月間」を迎えます。

2022「第63回 品質月間」が  
11月1日から11月30日までの1カ月間 開催されます。  
「品質月間」日常生活ではあまり聞かれない言葉です。  
しかし、製造業界ではとても大事な期間です。  
品質月間とは、「品質意識の高揚、品質管理活動の  
幅広い普及活動を目的」としており、毎年11月を  
品質月間と定めています。

テーマ **『今こそ実践 新たな社会のクオリティ』**

D×化やそれを支える人材育成、TQMの根幹である  
社内外とのコミュニケーションを根底から考え直そうという  
意図があり、その意図の実現に向けた活動の展開に  
挑戦する意味が込められているそうです。

私たちが生産している製品に対する品質の意識をさらに  
強く持つことで普段の作業を改めて見直し、より一層の品質  
向上を目指すことを目的とし品質活動を行っています。  
しかしながら日常のやり慣れた作業の中で「普段以上に  
意識する・気を付ける」のはとても難しいことと思います。

工程のクオリティを正しい姿にするためには、  
工程の現状把握を行い本質の問題点を洗い出し、  
社員全員が知恵を絞ってその解決に当たるという  
品質管理活動の視点と方法が  
有効なことは言うまでもありません。  
そういう品質管理活動を品質管理に携わる方はもちろん  
仕事に従事する従業員全員で考える機会に  
今年度の「品質月間」がなればと思っています。



以上